

おはようございます。

長崎大学人 河野茂です。人と人との心の垣根を乗り越えてコミュニティを形成したり、コミュニケーションを活性化する人材もまた、国境を超える「Navigators」です。最終回となる今回も、伊東昌子グローバル連携機構長（学生・国際担当理事）から、長崎大学の「Navigators」について紹介してもらいます。

国境を越える

グローバル連携機構長（学生・国際担当理事）／伊東昌子

昨日のメールでは国境を越えてみませんか？と書きました。でも国境って実は人と人との間にも存在していると思うのです。

以前、長崎大学で勉強中の留学生が道を聞こうと英語で声をかけたら、日本人学生にびっくりして飛び上がられたと言っていました。外国人と接する時に感じる壁は、私たちの日常生活の中にある国境です。

「Navigators」にエントリーしてくれた留学生の中には、キャンパス内で人と人との間の国境を取り払おうと頑張っている人もいます。

例えば、[Lee Juo Pei](#) さんや [Syed Shabbar Hussain Shah](#) さんは、留学生同士や日本人と留学生の間の交流を促進させる活動を行っています。中国海洋大学からの交換留学生である李振華さんも、今どきの若者として、興味を持ったことに力を尽くし、「世界」との交流に思う存分取り組んでいるそうです。

[Bundutidi Gloria Mavinga](#) さんは、研究の傍ら旅行や料理もフルスイングで、色んな人と積極的にコミュニケーションを図っています。[Thanawat Khongyot](#) さんも、人々が異なる性格や国籍や言語を持ちながら平和に暮らすにはどうしたらよいのか考えながら研究生生活を送っています。

「Navigators」を通じて色々と考えてみると、「グローバル人材」って国境を感じさせない人のことを言うのかもしれない。浜辺に落ちているゴミから世界の問題を考えたり、国籍が異なる人と話していてもいつもの自分でいられたり、文字通り国境を躊躇なく越えていけたり。

「Navigators」に選ばれた人の中には、本学の教職員もいます。今回のメールでは、個別には紹介していませんが、教職員の Navigators も国境を感じさせない人ばかり集まりました。

どんな人たちが Navigators に選ばれたのか、是非紹介ページを訪れてみてください。

日本語サイト

<http://global.nagasaki-u.ac.jp/navigators-presentation/>

英語サイト

<http://global.nagasaki-u.ac.jp/en/navigators-presentation/>